

小豆島自治会
会長 三浦 勝 様

令和元年 8 月 2 日

小豆島青少年育成会
小豆島自治会

小豆島クリーン作戦の実施について（協力依頼）

平素は、青少年育成会活動にご理解とご協力を賜りありがとうございます。
ます。

さて、毎年実施していますクリーン作戦を下記のとおり行います。つ
きましてはお忙しい中、貴会の皆様のご参加をよろしくお願ひします。

記

1. 日 時 令和元年 8 月 24 日（土）午前 7 時から
2. 集合場所 小豆島集会場
○開会及び連絡事項がありますので 6 時 55 分
に集合して下さい。
3. その他 作業は、草取り、ゴミ拾い等です。清掃場所
は、集会場から北へファミリーマートまで
と西へしまむら前道路の清掃を行います。

非常持ち出し品チェックリスト(例)

一次持ち出し品

避難時すぐに持ち出すべき、必要最低限の備えです。
男性15kg、女性で10kgの重さを目安に準備しましょう。

貴重品類

※10円玉は公衆電話用に
20枚程度用意しましょう。
※通帳・カード・保険証など
番号を控えたメモをあらかじめ
用意しておきましょう。

現金、10円玉	免許証
預金通帳	証書類
カード類	印鑑
健康保険証	家や車のキー

救急用具

※マスクは防塵だけでなく防寒にも
利用できるのを用意しておくとう立ちます。
※救急用具一式を1袋にまとめておきましょう。

消毒液	風邪薬・胃腸薬
ばんそうこう	マスク
滅菌ガーゼ	毛抜き(ピンセット)
包帯	常備薬、処方箋の写し

生活用品など

※新聞紙とポリ袋で簡易トイレが作成できます。
※布製ガムテープは、伝言等を書くことができます。
※赤ちゃん用おしりふき(ウエットティッシュ)
はサイズも大きく大人の身体も拭けるので便利です。

洗面道具	ティッシュ
サバイバルブランケット	缶切り
新聞紙	ウエットティッシュ
油性マジック	ガムテープ
ポリ袋	トイレトーパー

避難用具

※懐中電灯はシンプルな使い易い
ものにしましょう。
※予備の電池も用意しておきましょう。
※ロープは、救助や避難はしこの
代用となります。

懐中電灯	ナイフ
携帯ラジオ	ライター
予備電池	ロープ
ヘルメット	すべり止め付軍手

非常食料

飲料水
缶入り乾パン
缶詰
あめ・チョコレート

高齢者用品

介護手帳
大人用おむつ
持病薬
予備めがね

赤ちゃん用品

粉ミルク・ほ乳びん
離乳食・スプーン
紙おむつ
おもちゃ

二次持ち出し品

避難した後で少し余裕ができてから安全を確認して自宅へ戻り、
避難所へ持ち出したり、自宅で避難生活を送る上で必要なものです。

飲料水

※大人1人当たり1日3リットル以上が理想。
※5年保存水もあるので、2リットル×6本を箱で購入し
常備しておくといいです。

食料品

※そのまま、または簡単な調理で食べられる物。
※アルファ米、缶詰、インスタント食品、乾パンなど
※ラップは、食器に巻いて用いると洗わずに済み、
貴重な水の節約になります。

燃料・その他

※卓上コンロと予備のガスボンベがあるといいです。
※水道が止まり、給水での生活に備えて、
ポリタンクも備えておきましょう。

要 望 書 (案)

和歌山県知事 仁坂 吉伸 様

平素は、有田市連合自治会ならびに有田市の振興にご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。また、本要望の推進におきましては、格段のご高配を頂いておりますことに重ねて御礼申し上げます。さて、本年度におきましても、下記の2点について要望いたしますので、よろしくお願い申し上げます。

記

1. 有田川の河川整備等について

有田川の護岸整備につきましては、近年大幅な改善が図られておりますが、残る堤防未整備区間、特に有田川河口部兩岸の早期完成をお願い申し上げます。

また、台風や大雨により河川内に土砂が堆積し、立木などが生い茂ってきております。これらにより流域面積が狭まり、川の流れも阻害され、洪水の危険性が高まっていると考えられます。洪水を未然に防ぐためにも大規模な浚渫及び立木の伐採を強くお願い申し上げます。また、堤防内側の法面にも立木が生い茂ってきており、こちらの伐採もお願いいたします。

有田川支流の排水対策につきましては、お仙谷川の排水の強化など各支流の浸水被害等の解消に向けた根本的な対策を要望いたします。また、西谷川、宮前川につきましては、上流域や合流地点の土砂撤去をお願いいたします。更に箕川におきましても、護岸の老朽化も著しく、護岸改修の早期完成と併せて土砂の浚渫もお願いいたします。

2. 有田市内県道等の早期整備促進について

県道有田湯浅線の千田地区内の路幅が狭い区間につきましては、用地取得に向け着手していただいております。お礼申し上げますとともに、今後も早期実現に向け、引き続きご尽力賜りますようお願い申し上げます。

また、県道有田港線の港地区内の道路の拡幅につきましては、本年度、測量に着手いただきましたことお礼申し上げます。本路線の路幅が狭い区間につきましては、車両の対向ができないような状況であり、津波等災害時の避難路ともなりますので安全に避難できるよう早期実現に向けて更なる事業の推進をお願いいたします。

以上

令和元年 8月 日

有田市連合自治会
会長 中本 満



有市社福第504号

令和元年8月6日

連合自治会長各位

有田市共同募金委員会
会長 森川 文夫



赤い羽根共同募金について

平素は社会福祉の増進に一方ならぬご協力を賜り有難うございます。

本年も“じぶんの町を良くするしくみ”を合言葉に、10月1日から全国一斉に赤い羽根共同募金運動がはじまります。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、下記によりご協力を賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

なお今年度は「赤い羽根」の材料となる羽根の確保が難しく、中央共同募金会において「赤い羽根」を作製できておりません。そのため全国的に「赤い羽根」に代わり「赤い羽根ステッカー」を使用させていただくこととなりました。ご了承くださいませようようお願い申し上げます。

記

連合自治会長様におかれましては、別紙確認表に各自治会についてご記入いただき、同封の返信用封筒にて8月30日（金）までにご返信いただきたく存じます。

ご回答いただいた物品は、各自治会あて、9月27日（金）に「広報ありだ」と一緒にお届けする予定です。確認表でご指定いただいた配布先が「広報ありだ」配布先と異なる場合は、同日までにご指定の配布先あて郵送いたします。

1世帯500円を目安に何卒よろしくようお願い申し上げます。お寄せいただいた募金は、大変お手数ですが、10月31日（木）を目途に有田市社会福祉協議会（福祉館なごみ）または市役所福祉課までお届けいただければ幸いに存じます。なお福祉課にお持ちいただいた場合は、その場で領収証の発行ができません。後日、有田市共同募金委員会より発行させていただきますので、ご了承をお願いいたします。

また、ご多忙の中、社会福祉協議会あるいは市役所へ募金をお持ちいただくのが困難な場合は、お申し入れいただければ本会にて対応させていただきます。

共同募金につきましては決して強制ではなく、あくまでもお願いでございます。ご協力どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和元年8月6日

4階会議室

生活環境課議題

○ ボランティア袋について

平成30年度よりボランティア袋を配布する際は、申請書を記載して頂き、排出する日や数量を報告して頂いています。

また、本年度より報告を受けていないボランティア袋については収集せずに残す対応をしています。

改めて、ボランティア袋については、地区清掃でのみ使用してください。また、連絡がないボランティア袋は収集しませんので、必ず事前に生活環境課まで、どこの清掃をして、どこの集積所に、どれだけの数量のごみが、いつ出るのか連絡をしてください。

最近、集積所でボランティア袋に家庭ごみを入れて出していた事例がありました。